

# 平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（非連結）

平成 20 年 1 月 30 日



上場会社名 株式会社 ルネサンス

上場取引所 東証第一部

コード番号 2378

URL <http://www.s-renaissance.co.jp/>

代表者（役職名）代表取締役社長執行役員（氏名）斎藤 敏一

問合せ先責任者（役職名）取締役執行役員経理財務本部長（氏名）渡邊 清 TEL (03) 5600-5312

（百万円未満切捨て）

## 1. 平成 20 年 3 月期 第 3 四半期の業績（平成 19 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 12 月 31 日）

### (1) 経営成績

（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期（当期）純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
20 年 3 月期第 3 四半期	24,726 (5.8)	395 (△74.6)	376 (△74.6)	157 (△80.4)
19 年 3 月期第 3 四半期	23,366 (9.2)	1,557 (△17.7)	1,485 (△19.7)	799 (△7.3)
19 年 3 月期	31,344 —	1,417 —	1,331 —	679 —

	1 株当たり四半期 （当期）純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 （当期）純利益
	円 銭	円 銭
20 年 3 月期第 3 四半期	7 87	— —
19 年 3 月期第 3 四半期	40 08	— —
19 年 3 月期	34 03	— —

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20 年 3 月期第 3 四半期	20,538	7,733	37.7	387 47
19 年 3 月期第 3 四半期	19,203	7,948	41.4	398 21
19 年 3 月期	19,701	7,827	39.7	392 14

### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20 年 3 月期第 3 四半期	409	△2,031	1,575	393
19 年 3 月期第 3 四半期	1,022	△2,757	1,830	424
19 年 3 月期	2,039	△3,568	1,640	440

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
19年3月期	円 銭 12 50	円 銭 12 50	円 銭 25 00
20年3月期	— —		5 50
20年3月期(予想)		5 50	

3. 平成 20 年 3 月期の業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
通 期	百万円 % 33,000 (5.3)	百万円 % 740 (△47.8)	百万円 % 700 (△47.4)	百万円 % 250 (△63.2)	円 銭 12 53

4. その他

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無  
 (2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

〔(注) 詳細は、5 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1株当たりの期末配当金の予想及び通期の業績予想については、平成 19 年 11 月 6 日に公表した予想を修正しております。
- 上記の業績予想は、本資料の発表時現在の将来に関する前提、見通し、計画に基づく予測が含まれております。日本経済、競合状況、株式市況等に不透明な面があり、実際の業績が記載の予測数値と大幅に異なる可能性があります。  
 なお、詳細につきましては、平成 20 年 1 月 30 日公表の「平成 20 年 3 月期配当予想の修正に関するお知らせ」、「通期業績予想の修正に関するお知らせ」及び 5 ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日）においては、新規のクラブとして、4 月に登美ヶ丘（奈良県奈良市）、浦安（千葉県浦安市）、6 月に西国分寺（東京都国分寺市）、イオンモール福岡ルクル（福岡県粕屋町：9 月 22 日付で福岡ダイヤモンドシティ・ルクルから改称）、9 月に長岡（新潟県長岡市）、12 月に富士見台（東京都練馬区）の直営 6 クラブを出店いたしました。なお、駅前再開発の影響により、9 月末日をもって北千住クラブ（東京都足立区）を閉店いたしました。

この結果、当第 3 四半期末のクラブ数は、直営 88 クラブ、業務受託 6 クラブ、フランチャイズ 1 クラブの計 95 クラブとなりました。

女性専用のサーキットトレーニングジム「Body Q' t（ボディ キュット）」については、直営クラブ内に開設する「クラブ・イン・タイプ」として 13 店舗、直営クラブの近隣に開設する「サテライト・タイプ」として 1 店舗を出店し、当第 3 四半期末の店舗数は、「クラブ・イン・タイプ」14 店舗、「サテライト・タイプ」1 店舗の計 15 店舗となりました。

ヘルスケア事業への取り組みとしては、平成 20 年 4 月から医療保険者（健康保険組合等）に義務付けられる生活習慣病予防推進のための特定保健指導に対応したプログラムとして、千葉県佐倉市との協働でメタボリックシンドローム対策のモデル事業を実施しております。また、特定保健指導を実践する人材を確保するため、「ヘルスケアスタッフ」として登録制を採用し、登録者に対して業務の研修や専門知識の習得の機会を設けるなど、医療保険者に向けた事業拡大の準備を進めています。

なお、12 月 14 日に発生した散弾銃乱射事件の影響により休業いたしました佐世保クラブ（長崎県佐世保市）は、内装変更及び防犯設備の新設等を行い、平成 20 年 1 月 15 日より営業を再開しております。

当第 3 四半期は、既存クラブの会員数は下表のとおり 10 月までは前年同月を上回っていたものの、当第 3 四半期末では前年同月比 1.0%減となりました。20～30 代の入会者数が減少しており、会員数が計画を下回っております。

既存クラブの売上高は、顧客ニーズに対応した会員種別の導入や販促内容の見直しなどを行い入会者獲得に努めたものの、会員数の落込みと、入会キャンペーン割引等の影響により、前年同期比 2.7%減となっております。

以上の結果、当第 3 四半期は、売上高は 247 億 26 百万円（前年同期比 5.8%増）、営業利益は 3 億 95 百万円（同 74.6%減）、経常利益は 3 億 76 百万円（同 74.6%減）、四半期純利益は 1 億 57 百万円（同 80.4%減）となりました。

既存クラブ月末在籍会員数の推移（単位：％）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
前年同月比	△1.8	△0.6	+0.2	+0.7	+0.7	+1.0	+0.6	△0.5	△1.0

## 2. 財政状態に関する定性的情報

### (1) 財政状態の変動状況

当第 3 四半期末の資産合計は、前期末に比べ 8 億 37 百万円増加し、205 億 38 百万円となりました。これは主として法人税等を中間納付したことでその他流動資産が増加したことにより、流動資産が 3 億 42 百万円増加したことと、新規クラブ開設に伴い敷金・保証金を差し入れたことにより、投資その他の資産が 3 億 85 百万円増加したことによるものです。

当第 3 四半期末の負債合計は、前期末に比べ 9 億 30 百万円増加し、128 億 4 百万円となりました。これは主として長期借入金の増加により、固定負債が 7 億 55 百万円増加したことによるものです。

また、当第 3 四半期末の純資産合計は、前期末に比べ 93 百万円減少し、77 億 33 百万円となりました。これは四半期純利益 1 億 57 百万円の計上と、前期末配当金 2 億 49 百万円の支払いによるものです。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第 3 四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前期末に比べ 46 百万円減少し、3 億 93 百万円となりました。

当第 3 四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

#### 【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動により得られた資金は、4 億 9 百万円となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益 3 億 12 百万円、減価償却費 11 億 74 百万円、前受金の減少額 2 億 52 百万円、仮払法人税等の増加額 2 億 47 百万円によるものです。

#### 【投資活動によるキャッシュ・フロー】

投資活動に使用した資金は、20 億 31 百万円となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出 16 億 28 百万円、敷金・保証金の差入による支出 4 億 74 百万円によるものです。

#### 【財務活動によるキャッシュ・フロー】

財務活動により得られた資金は、15 億 75 百万円となりました。これは主として長期借入れによる収入 15 億円、短期借入金純増加額 8 億円、長期借入金の返済による支出 4 億 75 百万円、配当金の支払額 2 億 49 百万円によるものです。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

当期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)は、既存クラブの会員数が 10 月までは前年同月比でプラスに転じるなど回復の兆しが見られましたが、11 月以降再びマイナスとなり、会費収入が計画どおりに伸長しない見通しです。現在、経費削減策等を進めておりますが、売上高は 330 億円(前回〔平成 19 年 11 月 6 日〕予想差△10 億円)、営業利益は 7 億 40 百万円(同△7 億 60 百万円)、経常利益は 7 億円(同△7 億円)、当期純利益は佐世保クラブの休業及び営業再開に関わる特別損失の影響もあり 2 億 50 百万円(同△4 億 50 百万円)となる見込みです。

### 4. その他

#### (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項はありません。

#### (2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更

法人税法の改正((所得税法等の一部を改正する法律 平成 19 年 3 月 30 日 法律第 6 号)及び(法人税法施行令の一部を改正する政令 平成 19 年 3 月 30 日 政令第 83 号))に伴い、当事業年度から、平成 19 年 4 月 1 日以降に取得した資産については、改正後の法人税法に基づく方法に変更しています。

これに伴い、前事業年度と同一の方法によった場合と比べ、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ 28 百万円減少しています。

#### (追加情報)

当事業年度から法人税法改正に伴い、平成 19 年 3 月 31 日以前に取得した資産については、改正前の法人税法に基づく減価償却の方法の適用により取得価額の 5%に到達した事業年度の翌事業年度より、取得価額の 5%相当額と備忘価額との差額を 5 年間にわたり均等償却し、減価償却費に含めて計上しています。

これに伴い、前事業年度と同一の方法によった場合と比べ、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ 7 百万円減少しています。

5. (要約) 四半期財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成 19 年 3 月期 第 3 四半期末)	当四半期 (平成 20 年 3 月期 第 3 四半期末)	増 減		(参考) 前期末 平成 19 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>(資産の部)</b>					
<b>I 流動資産</b>					
1 現金及び預金	424	393	△30	△7.2	440
2 売掛金	546	615	69	12.8	574
3 たな卸資産	555	599	44	8.0	553
4 その他	1,123	1,341	218	19.4	1,021
貸倒引当金	—	△18	△18	—	—
流動資産合計	2,648	2,932	283	10.7	2,590
<b>II 固定資産</b>					
1 有形固定資産					
(1) 建物	5,509	5,631	121	2.2	5,649
(2) 工具器具備品	1,005	1,195	189	18.9	1,049
(3) その他	1,168	1,149	△18	△1.6	1,193
有形固定資産合計	7,684	7,976	292	3.8	7,892
2 無形固定資産	517	543	26	5.1	518
3 投資その他の資産					
(1) 長期貸付金	712	1,117	404	56.8	1,090
(2) 敷金・保証金	6,860	6,862	2	0.0	5,892
(3) その他	793	1,118	324	40.9	1,730
貸倒引当金	△12	△12	—	—	△12
投資その他の資産合計	8,353	9,085	732	8.8	8,700
固定資産合計	16,555	17,606	1,051	6.3	17,110
資産合計	19,203	20,538	1,334	6.9	19,701

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成 19 年 3 月期 第 3 四半期末)	当四半期 (平成 20 年 3 月期 第 3 四半期末)	増 減		(参考) 前期末 平成 19 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>(負債の部)</b>					
<b>I 流動負債</b>					
1 支払手形	239	308	69	29.1	386
2 買掛金	218	221	2	1.4	125
3 短期借入金	4,100	4,500	400	9.8	3,700
4 1年内返済予定の 長期借入金	670	2,035	1,365	203.7	1,780
5 前受金	706	546	△159	△22.6	799
6 賞与引当金	205	142	△63	△30.7	389
7 その他	1,901	1,970	69	3.6	2,369
流動負債合計	8,041	9,725	1,683	20.9	9,551
<b>II 固定負債</b>					
1 長期借入金	2,170	2,040	△130	△6.0	1,270
2 退職給付引当金	456	481	24	5.4	467
3 その他	587	557	△29	△5.1	585
固定負債合計	3,213	3,078	△135	△4.2	2,322
負債合計	11,255	12,804	1,548	13.8	11,874
<b>(純資産の部)</b>					
<b>I 株主資本</b>					
1 資本金	2,210	2,210	—	—	2,210
2 資本剰余金	2,146	2,146	—	—	2,146
3 利益剰余金	3,588	3,374	△213	△5.9	3,467
4 自己株式	—	△0	△0	—	—
株主資本合計	7,945	7,732	△213	△2.7	7,824
<b>II 評価・換算差額等</b>					
1 その他有価証券 評価差額金	3	1	△1	△41.8	2
評価・換算差額等合計	3	1	△1	△41.8	2
純資産合計	7,948	7,733	△214	△2.7	7,827
負債、純資産合計	19,203	20,538	1,334	6.9	19,701

(2) (要約) 四半期損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成 19 年 3 月期 第 3 四半期)	当四半期 (平成 20 年 3 月期 第 3 四半期)	増 減		(参考) 前期 平成 19 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	23,366	24,726	1,359	5.8	31,344
II 売上原価	20,677	23,202	2,525	12.2	28,401
売上総利益	2,689	1,523	△1,165	△43.3	2,942
III 販売費及び 一般管理費	1,132	1,128	△3	△0.3	1,525
営業利益	1,557	395	△1,162	△74.6	1,417
IV 営業外収益	39	46	7	18.0	56
V 営業外費用	111	64	△46	△41.8	141
経常利益	1,485	376	△1,108	△74.6	1,331
VI 特別利益	0	3	3	629.4	0
VII 特別損失	77	68	△9	△12.2	92
税金等調整前 四半期(当期)純利益	1,408	312	△1,095	△77.8	1,240
税金費用	608	155	△452	△74.5	561
四半期(当期)純利益	799	157	△642	△80.4	679

(3) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	前年同四半期 (平成 19 年 3 月期 第 3 四半期)	当四半期 (平成 20 年 3 月期 第 3 四半期)	(参考) 前期 平成 19 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前四半期（当期）純利益	1,408	312	1,240
減価償却費	984	1,174	1,375
減損損失	16	34	16
売上債権の増加額	△70	△41	△98
たな卸資産の増加額	△93	△45	△91
前払費用の増加額	△112	△79	△30
仕入債務の増加額	138	18	192
前受金の減少額	△225	△252	△132
仮払法人税等の増加額	—	△247	—
その他	△291	△357	324
小 計	1,753	515	2,795
利息及び配当金の受取額	3	1	3
利息の支払額	△30	△57	△55
法人税等の支払額	△704	△50	△704
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,022	409	2,039
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形固定資産の取得による支出	△1,108	△1,628	△1,481
無形固定資産の取得による支出	△127	△97	△160
有形固定資産売却による収入	4	107	4
子会社への短期貸付けによる支出	△1,600	—	△1,600
子会社への短期貸付金回収による収入	810	—	810
敷金・保証金の差入による支出	△824	△474	△1,274
その他	88	61	133
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,757	△2,031	△3,568
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
短期借入金純増加額	1,600	800	1,200
長期借入れによる収入	900	1,500	1,500
長期借入金の返済による支出	△220	△475	△610
配当金の支払額	△449	△249	△449
その他	—	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,830	1,575	1,640
<b>IV 現金及び現金同等物の増加額（△減少額）</b>	95	△46	111
<b>V 現金及び現金同等物の期首残高</b>	299	440	299
<b>VI 合併に伴う現金及び現金同等物の増加額</b>	29	—	29
<b>VII 現金及び現金同等物の第 3 四半期末 （期末）残高</b>	424	393	440